

研究に関するご協力のお願い

町では、福島県立医科大学倫理委員会にて承認された下記の多機関共同研究に協力します。
町における情報の提供について、皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

2023年4月

■ 研究課題名

健康寿命の延伸を目的とした地域住民の健康維持・疾病予防に関わる要因についての研究

■ 研究期間

2017年8月 ～ 2027年3月

■ 研究の目的・意義

福島県では東日本大震災及び福島第一原子力発電所の事故により、避難を余儀なくされた者が多くおり、県内及び県外に多くの地域住民が避難しています。一方、避難区域住民を中心として震災前後の健康状態を調査した結果、多くの地域において震災後の健診の結果が悪化傾向にあり（Ohira T, et al. Asia-Pac J Pub Health, 2017）、介護認定の伸び、医療費の増加も顕著で、医療費や介護給付費の適正化は緊急に押し進めなければならない課題となっています。

そこで本研究では、自治体の依頼に基づき「健康寿命の延伸」を目的として、健康診査、レセプト情報、介護情報等の健康増進・疾病予防に関わるデータを解析することにより、自治体の健康課題を抽出し、地域における健康寿命の延伸に関わる要因を明らかにすることを目的としました。本研究の結果は、自治体の健康施策に活用することが可能であり、公衆衛生的に大きな意義があると考えます。

■ 研究対象となる方

本研究の対象者は、町が実施したアンケート調査及び健康診査を受診した方です。本研究は町の健康増進・疾病予防に影響する因子を検討するものであり、町が保有する健康情報をできるだけ多く分析することが、町の健康状況の把握に有用と考えるため、町の調査や健診に参加した住民全員を対象として分析することを計画しています。

■ 研究の方法

- 既に町で取得している健康増進・疾病予防に関するデータの内容について提示を受け、それらのデータを自治体の中で連結し、氏名等の情報を削除し、研究IDを付与した状態でデータを受け取り、解析に用います。
- 解析は、健康意識調査における横断データについては、健康意識が高いことに関する社会心理的要因及び生活習慣の要因を検討します。また、健診データとレセプト及び介護認定状況との関連については、ベースライン時の健診結果とその後の生活習慣病の受療、及び介護認定の有無との関連について検討します。

■ 研究組織

この研究は福島県立医科大学を中心とした多機関共同研究です。全ての共同研究機関とその研究責任者、および既存試料・情報の提供のみを行う機関とその提供する者の氏名は下記に掲載しています。

研究責任者

福島県立医科大学医学部疫学講座 教授 大平哲也
大阪大学大学院医学系研究科社会医学講座 特任准教授 白井こころ

既存試料・情報の提供のみを行う者

楡葉町 保健福祉課

また、この研究の研究事務局は福島県立医科大学疫学講座であり、研究代表者は福島県立医科大学疫学講座 大平哲也です。集められた情報の管理責任者は福島県立医科大学学長 竹之下誠一であり、それらの情報は共同研究機関で共同利用され解析が行われます。

■ 試料・情報の提供について

既に町で取得している健康増進・疾病予防に関するデータの内容について提示を受け、それらのデータを自治体の中で連結し、氏名等の情報を削除し、研究 ID を付与した状態で USB などの情報記録媒体を用いて研究事務局へ送られます。

■ この研究に関する問い合わせ

この研究に関して質問などございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象の方の個人情報や知的財産の保護などに支障がない範囲で、研究計画書や研究方法に関する資料が閲覧できます。

〒960-1295 福島県福島市光が丘 1 番地
福島県立医科大学医学部疫学講座
電話：024-547-1343 FAX：024-547-1336
e-mail：epi@fmu.ac.jp

■ 試料・情報の利用を望まれない場合の連絡先

試料・情報がこの研究に利用されることについて、研究対象者ご本人または代理の方にご了承いただけない場合は、研究対象者とはせずに試料・情報の利用や提供はいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人または代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果がすでに医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合は、データを取り消すことは困難な場合もあります。

〒960-1295 福島県福島市光が丘 1 番地
福島県立医科大学医学部疫学講座
電話：024-547-1343 FAX：024-547-1336
e-mail：epi@fmu.ac.jp